

The CITIZEN






はじめに

このたびは「ザ・シチズン」をお買い求めいただきありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をご一読
ください。



安全にお使いいただくために — 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 危険	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が高い」内容です。
 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

<保護シールについて>

時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。

シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

<バンド調整について>

お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする怖れがあります。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

もくじ

特長	6
時計の取り扱い方法	8
各部の名称	8
りゅうず、ボタンについて	9
りゅうずの位置と操作	10
時刻の合わせ方	11
カレンダーの合わせ方	13
年と月の表示について	16
時差修正方法	18
基準位置の確認	20

時計をオールリセットする	22
充電について	24
故障かなと思ったら	28
時間精度について	29
取り扱い上の注意	30
製品仕様	40
お問い合わせ窓口	42

特 長

ザ・シチズン（機種 No.A010）は、ソーラーセルを組み込んだエコ・ドライブ年差クォーツ時計です。

特長として以下の機能があります。

- ・エコ・ドライブ

エコ・ドライブは定期的な電池交換不要のシチズン独自の光発電技術です。

- ・0時ジャストカレンダー更新機能

午前0時ちょうどにカレンダーが進みます。

- ・年差±5秒

年間の時間精度が、約±5秒以内の高精度を実現したウォッチです。

- ・時差修正機能

海外にお出かけの際、時計を止めることなく簡単に現地の時刻に修正可能です。

- パーペチュアルカレンダー

月末にカレンダーを自分で修正する必要はありません。うるう年も自動で更新します。
(2100年2月28日まで)

- JIS1種耐磁性能

日常生活で磁界を発生する機器に5cmまで近づけても、時計の機能を維持します。
詳細に関しましては弊社ウェブサイト内のサポート情報をご覧ください。

- 衝撃検知機能

時計が衝撃を受けたときに秒針・分針・時針のずれを防ぐ機能です。

- 針自動補正機能

一定時間毎に針の位置をチェックし、ずれがあったときは自動的に補正し、正しい時刻を保持します。

- 充電量表示機能

充電量を表示する針がついており、現在の充電量を確認できます。

時計の取り扱い方法





◆各部の名称



※ お買い上げいただいた時計は、イラストと異なる場合があります。


◆リゅうず、ボタンについて

モデルによって、リゅうずやボタンがねじロック式の場合があります。時計を操作しないときにリゅうずやボタンをロックすることで、誤操作を防ぎます。時計を操作するときは、ロックを解除してください。

	ロックを解除する	再びロックする
ねじロック リゅうず	 <p>リゅうずが飛び出すまで、左に回す</p>	 <p>リゅうずを押し込みながら右に回し、しっかり締める</p>
ねじロック ボタン	 <p>ねじを左に回し、止まるまでゆるめる</p>	 <p>ねじを右に回し、しっかり締める</p>

※ モデルによっては、ボタンが隠しボタンになっています。

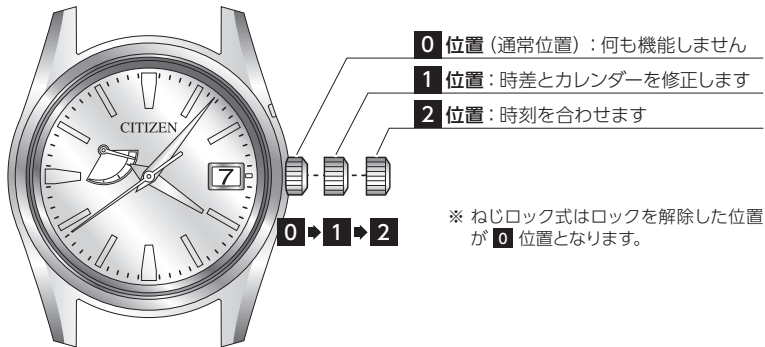
※ ボタンを押すときは、先の細いものなどで押してください。

 先の細いもので押し続ける場合は、先端に注意しながら行ってください。

時計の取り扱い方法

◆りゅうずの位置と操作

りゅうずは下記のイラストのように引き出して使用します。



※ ねじロック式はロックを解除した位置が **0** 位置となります。

◆時刻の合わせ方

リゅうず **2** 位置で時刻を合わせます。

※ 秒針が2秒毎に動いている（充電警告）場合は、先に充電を行ってください。（P.26 参照）

1

秒針が0秒の位置でリゅうずを **2** 位置に引き出します。

・リゅうずを引き出すと秒針が停止します。



2

リゅうずを回して時刻を合わせます。



・分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆に戻して合わせると、より正確な針合わせができます。

・分針は目盛りに正確に合わせてください。

・カレンダーも自動で変更されます。

・日が変わるところが午前0時です。
午前と午後をまちがえないよう合わせてください。

・23時から1時の間は、時刻合わせをしないでください。
日が正常に切り替わらない場合があります。

次ページへ
つづく

時計の取り扱い方法

◆時刻の合わせ方 つづき

3

リ्यूーズを **0** 位置に戻し、セット終了です。

・時報などに合わせてリ्यूーズを **0** 位置に押し込んでください。

(ねじロックリ्यूーズの場合はリ्यूーズをロックします。P.9 参照。)

前ページ
からのつづき



◆カレンダーの合わせ方

リ्यूズ **1** 位置でカレンダー（日／年／月）を合わせます。

※ 秒針が2秒毎に動いている（充電警告）場合は、先に充電を行ってください。（P.26 参照）

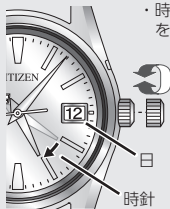
1

リ्यूズを **1** 位置に引き出します。



2

リ्यूズを回して日を合わせます。



- ・リ्यूズを回すと時針が1時間ずつ動きます。
- ・時針と日は連動しています。時針が午前0時を越えると日も切り替わります。
- ・時針と日を現在時刻・日に合わせてください。午前と午後をまちがえないよう合わせてください。
- ・時針は確実に1時間分送られるまで、リ्यूズを回転させてください。途中の位置に時針が停止された場合、誤作動が生じる可能性があります。

次ページへ
つづく

時計の取り扱い方法

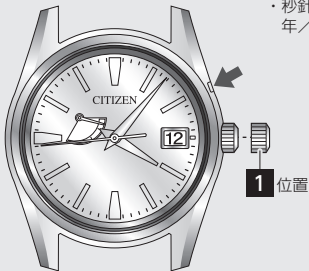
◆カレンダーの合わせ方 つづき

3

ボタンを2秒間押します。

- ・秒針が動いて、現在の年/月を示します。
年/月の見かたは P.16 を参照してください。

前ページ
からのつづき



時計の取り扱い方法

4

ボタンを押して年/月を合わせます。

- ・ ボタンを押すごとに秒針が1目盛り進みます。
- ・ 秒針が動いて、現在の年/月を示します。
この場合の年は「うるう年からの経過年」です。
年/月の見方はP.16を参照してください。



5

リ्यूズを **0** 位置に戻し、セット終了です。

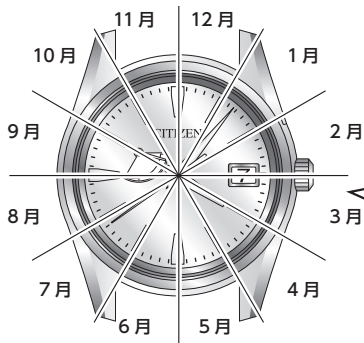
(ねじロックリ्यूズの場合はリ्यूズをロックします。P.9 参照。)



時計の取り扱い方法

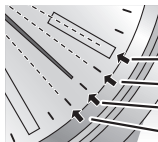
◆年と月の表示について

時刻・カレンダーを合わせるときに、「うるう年からの経過年」と「月」が、秒針の位置で表示されます。



- ・月は、範囲で示されます。左図の実線と実線の間が各月の範囲です。
- ・各月の範囲内の秒針の位置が、うるう年からの経過年を示します。(下図)

例：うるう年から経過 2 年目の 4 月のとき



うるう年

うるう年から 1 年目

うるう年から 2 年目

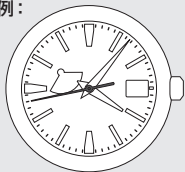
うるう年から 3 年目

時計の取り扱い方法

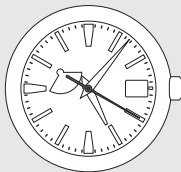
うるう年からの経過年早見表

秒針の位置	経過年	年
月の表示範囲の最初の目盛り	0年(うるう年)	2016、2020、2024
1目盛り目	1年	2017、2021、2025
2目盛り目	2年	2014、2018、2022
3目盛り目	3年	2015、2019、2023

例：



左図は、
うるう年から3年目の
8月を示しています。



左図は、
うるう年の4月を
示しています。

時計の取り扱い方法

◆時差修正方法

海外にお出かけの際、時計を止めることなく簡単に現地の時刻に修正可能です。
1 時間単位で修正できます。

※ 秒針が2秒毎に動いている（充電警告）場合は、先に充電を行ってください。（P.26 参照）

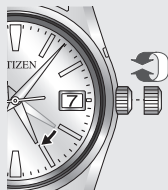
1

リ्यूズを **1** 位置
に引き出します。



2

リ्यूズを回して時差を合わせます。



- ・リ्यूズを右に回す（時計回り）と時針が+1時間ずつ、左に回す（反時計回り）と-1時間ずつ修正できます。
- ・時針と日は連動しています。時針が午前0時を越えると日も切り替わります。
- ・時針を現地時刻に合わせてください。午前と午後をまちがえないよう合わせてください。
- ・時針は確実に1時間分送られるまで、リ्यूズを回転させてください。途中の位置に時針が停止された場合、誤作動が生じる可能性があります。

3

リ्यूズを **0** 位置に戻し、終了です。
(ねじロックリ्यूズの場合はリ्यूズをロックします。P.9 参照。)



- ・時差を元にもどす際は、修正した反対方向に時針を戻してください。

時計の取り扱い方法

◆基準位置の確認

0時0分0秒で各針が重ならなかつたり、日表示がずれているときは、基準位置を確認してください。
※ 秒針が2秒毎に動いている（充電警告）場合は、先に充電を行ってください。（P.26 参照）

1

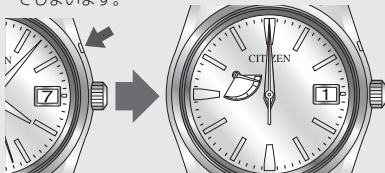
リ्यूズを **0** 位置にします。



2

各針が動き出すまで、ボタンを押し続けてください。（約5秒）

- ・各針と日が基準位置に動きます。
- ・基準位置確認中に、リ्यूズを引かないでください。現在時刻がずれてしまいます。



先の細いもので押し続ける場合は、先端に注意しながら行ってください。

時計の取り扱い方法

3

各針と日が基準位置になっているか確認します。

基準位置	時/分/秒針：0時0分0秒
	日：1日
	充電量表示：レベル3 (P.24 参照)



- ・各針と日が基準位置からずれているときは、修理が必要です。
- ・分針が0分から若干ずれている場合は、時刻合わせの際の秒・分合わせがずれていた可能性があります。時刻合わせで正しく目盛に合わせ直してください。

4

ボタンを押して現在時刻の表示に戻し、時刻・カレンダーを合わせます。(P.11 参照)



- ・ボタンを押さなくても、2分で現在時刻表示に自動的に戻ります。

時計の取り扱い方法

◆時計をオールリセットする

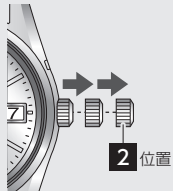
時計の動作が不安定なとき、時計をオールリセットすることができます。

※ オールリセットを行うと、全ての情報が消去されますので、容易には行わないでください。

※ オールリセットする前に、必ず充電してください。(P.25 参照)

1

リ्यूズを **2** 位置に引き出します。



2

ボタンを 10 秒間押し続けて、離します。

・充電量表示が充電完了位置、日が 1 日に動いた後、現在の充電量を表示しリセットされます。



⚠ 先の細いもので押し続ける場合は、先端に注意しながら行ってください。

時計の取り扱い方法

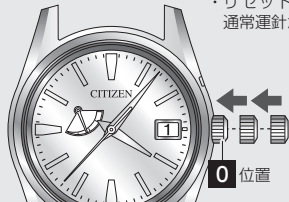
オールリセットすると、時計の設定が次のように変更されます。

- ・ カレンダー 1月1日(うるう年)
- ・ 時刻 指針時刻のAMとなります。

3

リ्यूズを **0** 位置に戻します。

- ・ リセットした状態から、通常運針が始まります。



4

時刻・カレンダーを合わせます。
(P.11 参照)

- ・ リセット後は1月1日(うるう年)AMの設定になります。必ず時刻とカレンダーを確認し、正しい時刻・カレンダーに合わせてください。





時計の取り扱い方法

◆充電について

この時計は、電気エネルギーを蓄える二次電池を内蔵しています。文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てることにより、充電できます。

■充電量表示の見かた

充電量表示部分の針位置により下記のように充電量を示します。

充電レベル	レベル3	レベル2	レベル1	レベル0
充電量表示				
時計が止まるまでの目安	約160～210日間	約100～160日間	約3～100日間	約3日間
説明	十分充電されています。安心してお使いください。	充電状態は良好です。安心してお使いください。	充電不足気味です。	充電不足です。

すぐに充電が必要です。

■環境ごとの充電時間の目安

連続して照射した場合の数値です。目安としてご利用ください。

環 境	明るさ (lx、ルクス)	充電時間（約）		
		通常に動く状態を 1日保つ	時計が停止してから 通常に動き出すまで	時計が停止してから 充電完了まで
屋外（晴天）	100,000	4分	40分	30時間
屋外（曇天）	10,000	12分	1.5時間	45時間
30W 蛍光灯の 20cm 下	3,000	40分	3.5時間	150時間
屋内照明	500	4時間	19時間	—

- 充電完了後は、それ以上充電されないように「**過充電防止機能**」が働きます。充電をしすぎて時計の性能や二次電池に影響を及ぼすことはありません。

充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで： 約7ヶ月（通常使用時）

約1.5年（パワーセーブ時）

充電警告（P.26 参照）が始まってから時計が停止するまで：約3日間

時計の取り扱い方法

■時計を快適にお使いいただくには

時計を快適に使用するために、次のことを行ってください。

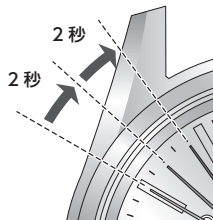
- ・月に一度は長時間直射日光に当てて5～6時間充電する。
- ・時計を外したら、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置く。
- ・時計を光の当たらない場所で長期保管するときは、保管前に十分に充電する。

また、衣服などで時計が隠れて光に当たらないと、十分に充電できないのでご注意ください。
高温下（約60℃以上）での充電はおやめください。

■充電不足になると（充電警告機能）

充電不足になると「充電警告機能」が働き、秒針が2秒毎に動きます（2秒運針）。文字板に光を当てて充電してください。

- ・しばらく充電すると、秒針が1秒毎に動くようになります（通常運針）。
- ・2秒運針が3日以上続くと、充電不足で時計が停止します。
- ・2秒運針している場合でも、時刻・日は表示されます。
- ・時計の操作や修正作業は、充電をして1秒運針（通常運針）になってから行ってください。
- ・充電警告機能が働いている間は、時間精度の補償ができません。
速やかに充電を行ってください。



■パワーセーブ機能 (節電機能)

ケースの中など暗所に時計を保管し、連続7日間以上文字板に光が当たらない状態が続くと、0時0分0秒で自動的に停止して、内蔵電池の消耗を抑えます。このとき時計内部では時を刻み続け、日と充電量表示は通常通り作動します。

- リューズの位置が **1** または **2** のときは、パワーセーブ機能は働きません。
- 手動でパワーセーブ機能を働かせることはできません。

■ パワーセーブ (節電状態) を解除するには

文字板に光が当たり充電が始まると、パワーセーブは解除され、各針が現在時刻になります。パワーセーブが解除され、各針が現在時刻に移動中はリューズを引かないでください。リューズを引いたところで各針が止まり、正しい現在時刻を表示できなくなります。

故障かなと思ったら

■針の動きがおかしい

時計の状態	対処方法	参照ページ
秒針が2秒毎に動く	充電する	25、26
全ての針が停止している	リュウズの位置を 0 にする	—
	直射日光で、秒針が1秒ごとに動くまで充電する	25
時計をケースなどから出した途端に針が高速で回りだす	パワーセーブが解除されています。 現在の時刻が表示されるまでお待ちください。	27

■時刻・日がおかしい

時計の状態	対処方法	参照ページ
時刻や日が正しくない	基準位置を確認する	20、21
	時刻・日を合わせる	11～15
昼の12時頃日が変わる	時刻を12時間ぶん修正する	11～12

■その他

時計の状態	対処方法	参照ページ
充電しても、すぐに止まる	直射日光で約5～6時間充電します。それでも変化がないときは、お買い上げ店または弊社お問い合わせ窓口へご相談ください。	25

時間精度について

この時計の精度は年間の進み、遅れが約± 5 秒以内です。

■年間の最大進み、遅れを約 5 秒以内に保つためには

この時間精度を維持するためには、常温（+ 5 °C～+ 40 °C）の環境下での使用、1 日に 12 時間程度の携帯が条件となります。

このような条件以外のときは、精度誤差が生じることがありますので、あらかじめご了承ください。

充電警告機能が働いている間は、時間精度の補償ができません。こまめに充電を行ってください。

■月間の進み、遅れについて

この時計の月間での進み、遅れは必ずしも± 5 秒× 1 / 12 になりません。使用環境（温度変化＝季節など、携帯時間、その他）などによっては、月差約± 2 秒になるときもあります。

取り扱い上の注意

◆エコ・ドライブ取り扱い上の注意

《時計は常に充電を心がけてお使いください》

- ・ 日常長袖などを着用していると、時計が隠れて光に当たらないため、充電不足になりやすいのでご注意ください。
- ・ 時計を外したときも、できるだけ明るい場所に置くように心がけると、時計は常に正しく動き続けます。

注意 充電上の注意

- ・ 充電の際に時計が高温になると、故障の原因となりますので高温（約 60℃以上）での充電は避けてください。

例)

- ・ 白熱灯、ハロゲンランプなど、高温になりやすい場所での充電
※白熱灯で充電するときは、必ず 50cm 以上離して時計が高温にならないように注意して充電してください。
- ・ 車のダッシュボードなどの高温になりやすい場所での充電

《二次電池の交換について》

- この時計に使われている二次電池は充電を繰り返し行えるため、従来の一次電池のように定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長期間使用されますと、歯車の汚れ、油切れなどにより電流消費が大きくなり二次電池の容量が早くなります。定期的な分解掃除（有料）をおすすめします。

警告 二次電池の取り扱いについて

- お客様は時計から二次電池を取り出さないでください。やむを得ず二次電池を取り出した場合は、誤飲防止のため、幼児の手の届かない所に保管してください。万一、二次電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談して治療を受けてください。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。発火、環境破壊の原因となりますので、ゴミ回収を行っている市町村の指示に従ってください。

警告 指定の二次電池以外は使わないでください

- この時計に使われている二次電池以外の電池は、絶対に使用しないでください。他の種類の電池を組み込んでも時計は作動しない構造になっていますが、無理に銀電池など、他の種類の電池を使い、万一充電されると過充電となり電池が破裂して時計の破損および人体を傷つける危険があります。二次電池交換の際は、必ず指定の二次電池をご使用ください。

取り扱い上の注意

◆防水性能について






警告 防水性能について

- ・時計の文字板および裏ぶたの防水性能表示をご確認の上、下表を参照して正しくご使用ください。
(1bar は約 1 気圧に相当します)
- ・WATER RESIST (ANT) ×× bar は W.R. ×× bar と表示している場合があります。
- ・非防水時計は、水中や水に触れる環境での使用はできません。
- ・日常生活用防水時計 (3 気圧防水) は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。

名称	表示	仕様
	文字板または裏ぶた	
非防水時計	——	非防水
日常生活用防水時計	WATER RESIST (ANT)	3気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST (ANT) 5 bar	5気圧防水
	WATER RESIST (ANT) 10/20 bar	10 気圧防水、20 気圧防水

取り扱い上の注意

- 日常生活用強化防水時計（5 気圧防水）は、水泳などには使用できますが、素潜り（スキューバダイビング）やスキューバ潜水などには使用できません。
- 日常生活用強化防水時計（10/20 気圧防水）は、素潜りには使用できますが、スキューバ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

使用例				
 <p>水がかかる程度の使用。(洗顔、雨など)</p>	 <p>水仕事や一般水泳に使用。</p>	 <p>スキューバダイビング、マリンスポーツに使用。</p>	 <p>空気ポンプを使用するスキューバ潜水に使用。</p>	 <p>水滴がついた状態でのりゅうずやボタンの操作。</p>
×	×	×	×	×
○	×	×	×	×
○	○	×	×	×
○	○	○	×	×

取り扱い上の注意

注意 人への危害を防ぐために

- ・ 幼児を抱くときなどは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど十分ご注意ください。
- ・ 激しい運動や作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、十分ご注意ください。
- ・ サウナなど時計が高温になる場所では、やけどの恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ・ バンドの中留め構造によっては、着脱の際に爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ・ 時計をしたまま就寝しないでください。思わぬけがやかぶれを引き起こす恐れがあります。

注意 使用上の注意

- ・ リゅうずは常に押し込んだ状態（通常位置）でご使用ください。リゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかり固定されているか確認してください。
- ・ 水分のついたままリゅうず操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。
- ・ 万一、時計内部に水が入ったり、またガラスの内面にクモリが発生し長時間消えないときは、そのまま放置せず、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

取り扱い上の注意

- 時計の防水性能が高い場合でも、次のことにご注意ください。
 - 海水に浸したときは、真水で洗い乾いた布で良くふきとる。
 - 水道水を蛇口から直接時計にかけない。
 - 入浴するときは時計をはずす。
- 時計内部に海水が入った場合には、箱やビニール袋に入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品（ガラス、リゅうず、プッシュボタンなど）が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

<バンドについて>

- 皮革バンドやウレタンバンド(ゴムバンド)は、汗や汚れにより劣化します。定期的な交換を行ってください。
- 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。(脱色、接着はがれ) また、かぶれの原因にもなります。
- 皮革バンドの時計は防水時計であっても、水を使うときは時計を外すことをおすすめします。
- バンドは多少余裕を持たせ、通気性を良くしてご使用ください。
- ウレタンバンド(ゴムバンド)は、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バッグ等)と一緒に使用する場合はご注意ください。また、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。弾力性がなくなり、ひび割れを生じたらお取り替えください。

取り扱い上の注意

- 以下の場合、速やかにバンドの調整・修理をご依頼ください。
 - 腐食により、バンドに異常が認められたとき
 - バンドのピンが飛び出しているとき
- お客様ご自身で時計のバンド（金属やゴム）の長さを調整しないでください。時計が落下したり、調整時にケガをする恐れがあります。バンドの調整は、お買い上げ店または、弊社お問い合わせ窓口にて承っております。その他のお店では有料もしくは取り扱っていない場合があります。

<温度について>

- 極端な高温 / 低温の環境下では、時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

<磁気について>

- アナログ式クォーツ時計は、磁石を利用した「ステップモーター」で動いており、外部から強い磁気を受けるとモーターの動きがみだされて、正しい時刻を表示しなくなる場合があります。磁気の強い健康器具（磁気ネックレス・磁気健康腹巻など）、冷蔵庫のマグネットドア、バッグの留め具、携帯電話のスピーカー一部、電磁調理器などに近づけないでください。

<ショックについて>

- ・床面に落とすなどの激しいショックは与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

<静電気について>

- ・クォーツ時計に使われているICは、静電気に弱い性質を持っています。強い静電気を受けると正しい時刻を表示しない場合がありますので、ご注意ください。

<化学薬品・ガス・水銀について>

- ・化学薬品・ガスの中でのご使用はお避けください。シンナー・ベンジン等の各種溶剤およびそれらを含むもの（ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など）が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分注意してください。また、体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

<保護シールについて>

- ・時計のガラス部分や金属部分（裏ぶた、バンド、中留め）にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因となる場合があります。

取り扱い上の注意

注意 時計は常に清潔に

- リゅうずやプッシュボタンを長期間動かさないままにしていると、付着しているゴミや汚れが固まり、操作できなくなる事がありますので、ときどきリゅうずを空回りさせたり、プッシュボタンを押してください。また、ゴミ、汚れを落としてください。
- ケースやバンドは、肌着類と同様に直接肌に接しています。金属の腐食や汗、汚れ、ほこりなどの気づかない汚れで衣類の袖口などを汚す場合があります。常に清潔にしてご使用ください。
- ケースやバンドは直接肌に接しています。ケースやバンドに発生したサビ、汚れ、付着した汗、または金属、皮革アレルギーなどにより皮膚にかゆみ・かぶれを生じる場合があります。異常を感じたらすぐに使用を中止して医師に相談してください。
- 汗や汚れが付着した場合は、金属材質のバンドやケースは、はけなどを使い中性洗剤で汚れを除去してください。皮革材質のバンドは、乾いた布などで拭き、汚れを除去してください。
- 皮革バンドは汗や汚れにより「色落ち」を起こすことがあります。乾いた布で拭くなどして常に清潔にご使用ください。

時計のお手入れ方法

- ・ ケース・ガラスの汚れや汗などの水分は、柔らかい布で拭き取ってください。
- ・ 金属バンド・プラスチックバンド・ウレタンバンド(ゴムバンド)は水で汚れを洗い落としてください。金属バンドのすき間につまったゴミや汚れは柔らかいハケなどで除去してください。
- ・ 皮革バンドは乾いた布などで拭いて汚れを除去してください。
- ・ 時計を長時間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などを良く拭き取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。

夜光付き時計の場合は

時計の文字板や針には、放射性物質などの有害物質を一切含まない、人体や環境に安全な物質を使用した蓄光塗料が使用されています。

この塗料は太陽光や室内照明（白熱灯を除く）などの光を蓄え、暗い所で発光します。

- ・ 蓄えた光を放出させるため、時間の経過とともに少しずつ明るさ（輝度）は落ちていきます。
- ・ 光を蓄えるときの光の明るさや光源からの距離、光の照射時間や蓄光塗料の量などによって、発光する時間に差異が生じます。
- ・ 光が十分に蓄えられていないと、暗い場所で発光しなかったり、発光してもすぐに暗くなってしまう場合がありますのでご注意ください。

製品仕様

機種	A010	型式	アナログソーラーパワーウォッチ
時間精度	平均年差± 5 秒 常温 (+ 5°C~+ 40°C) 携帯時		
作動温度範囲	- 10°C~+ 60°C		
表示機能	時刻 (時、分、秒) / カレンダー (日) / 充電量		
持続時間	・ 充電完了後、一度も充電しないで時計が停止するまで： 約 1.5 年 (パワーセーブ機能作動時) / 約 7 ヶ月 (通常使用時) ・ 充電警告が始まってから時計が停止するまで：約 3 日		
使用電池	二次電池 (ボタン型リチウム電池) 1 個		

付加機能	<ul style="list-style-type: none">・光発電機能・充電量表示機能・過充電防止機能・充電警告機能 (2 秒運針)・パワーセーブ機能 (節電機能)・パーペチュアルカレンダー (2100 年 2 月 28 日まで)・JIS1 種耐磁性能・衝撃検知機能・針自動補正機能・時差修正機能
------	--

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

取扱説明書

INSTRUCTION MANUAL